

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成26年度）

施設	名称	栃木市栃木勤労青少年ホーム
	所在地	栃木市日ノ出町14番36号
	施設内容	勤労青少年が充実した職業生活と有意な教養を習得出来る様、魅力ある講座の提供と交流を通してグループ活動の機会を提供する施設
指定管理者	名称	環境整備株式会社
	所在地	宇都宮市岩曾1333番地
	主な業務内容	総合ビルメンテナンス業 (清掃・設備管理・警備保安管理に関する業務)

(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	アンケート数	400件(3回)	403件(3回)
	利用者意見反映数	3件	5件
	利用案内掲示数	3か所	3か所
	新規講座の開設	2件	4件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25

指定管理者コメント	<p>・施設の運営にあたっては、運営の基本方針に基づき全ての業務を遂行しています。</p> <p>・勤労青少年ホームを利用する条件に該当する勤労青少年が、平等に利用できるように配慮し運営しています。</p> <p>・館内にアンケート・意見箱を設置すると共に、講座終了時には利用者へのアンケートを実施し、運営や業務改善に生かしています。</p> <p>【運営】</p> <p>1. 新規講座を増やしてほしいとの要望があり、26年度下記講座を新たに実施しました。</p> <p>①ビューティーヨガ講座(27年度も継続実施することとしました)</p> <p>②スポット料理講座(2回・ケーキ講座とボルシチ・ドラニキ講座)</p> <p>③フラワーアレンジメント講座(27年度も継続実施)</p> <p>④27年度新たにボウリング講座を実施する事としました。</p> <p>2. 他の講座生と交流がしたいとの要望</p> <p>①26年度12月にウイングとちぎクリスマス会を実施しました(参加者人数56人)。</p> <p>【業務改善】</p> <p>1. 備品や設備などに対する意見要望への対応</p> <p>①体育室の音響を良くしてほしいとの要望があり、1月に音響を改善しました。</p> <p>②体育室の電気が暗いとの意見とカバーが外れそうになったので、3月に照明器具の取替えを実施しました。</p> <p>③女子トイレの改善については、業者から見積もりを取ったが経費の面で実施できず再度検討する事としました。</p> <p>・利用者からの苦情</p> <p>・26年度は利用者等からの苦情は0件でした。</p>
-----------	---

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査により、新規講座やスポット講座を開催するなど、利用者の意見を把握し運営を行っている。 ・施設に対する意見や要望に対しては、直ぐに対応できるものについては対応し、直ぐに対応できないものについては利用者に丁寧に説明するなど、適切な対応ができています。 ・さらに、利用者増加のためのより一層の工夫した取り組みにより、利用者の増加とサービスの向上に努めていただきたい。
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み

評価項目	① 事業計画通りに管理運営をしているか
	② 特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか
	③ 開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取り組みを行っているか
	④ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取り組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	登録利用者数	17,000人	14,481人
	ボランティアの参加人数	40人	16人
	HP閲覧数	4,500アクセス	6,500アクセス
	広報とちぎ掲載数	8回	8回
	周知チラシ配布箇所	12箇所	24箇所

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・登録利用者数については、青少年ホーム登録のクラブ数が減ってしまったため利用者が減少してしまったので登録利用者数を増やす為に栃木勤労青少年ホームの案内用パンフレットを作成し24箇所（500部）に配布および設置をしてもらう対応をしました。 ・勤労青少年ホームを利用する条件に該当する勤労青少年が、平等に利用できるように配慮し運営しています。 ・自主事業として、11月29日に栃木市&古河市青少年ホーム合同で利用者発表会を実施し、講座生や他の青少年ホーム利用者との交流を図りました（参加者人数96人）。 ・スポット講座を実施するにあたり、利用者の増加を図るべく所管課に開館日変更届を提出し、平日ではなく土曜日と日曜日に講座を実施しました。 ・就労支援相談業務（ヒミツキチ）を毎週月曜日に実施し若者の自立、就労相談を実施し26年度は1人就業に結びつけました。
-----------	--

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセラーの資格を持つ職員による、就労支援相談業務を毎週月曜日に実施しており、平成27年度より、隔週土曜日を追加して実施するなど、施設の効用を最大限発揮した取組みを行っている。 ・古い施設であるが、きれいに清掃され清潔に保たれており、また、整理整頓も行き届いており、引き続き適切な管理を期待する。 ・大平勤労青少年ホームとの交流、さらには婚活事業について積極的な取り組みをしていただきたい。
-----------	---

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価項目	① 指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	② 経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③ 清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④ 建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	見積もり合せの実施回数			都度2社	都度2社	
	施設・備品の更新数			2件	3件	
	電気料・水道料の節電&節水			前年比減	95%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料については、不明な点は所管課に相談するなどして適正な収支手続きを実施しています。 ・見積もり合せ等により経費の節減を実施し、弊社の総合ビルメンテナンス業のノウハウを生かして適切に対応しています。 ・26年度施設備品の更新については、青少年ホーム館内が暗いので、LEDの蛍光灯に交換し、館内を明るい雰囲気になりました。また2階体育室の音響設備の更新そして同じく体育室の照明器具の取替えを実施しました。 ・節電、節水については、ポスターを掲示し利用者の皆様にご協力は頂きますが、夏場のエアコンについては、外気温度と室内温度をチェックしながら設定温度をこまめに調整し、熱中症予防に努めておりますのでサービス低下にはつながっておりません。 ・省エネ、省資源に積極的に取り組み、資源ごみの分別はもちろんのこと、コピー用紙は再生紙のみを使用して環境への配慮しております。 					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・収支手続きについては、適正に処理されている。 ・施設や備品の修繕等適切に実施するとともに、利用者に不便をかけない節電対策により、適切な経費節減が図られている。 ・今後も引き続き、職員が一丸となって、施設経費の節減に取り組むとともに、利用者増加を図りコスト比率の低減に努めていただきたい。 					

(4) 施設の管理を安定して行う能力							
評価項目	① 管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか						
	② 職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか						
	③ 健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか						
	④ 財政状況に異常はないか <別紙参照>						
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	適正人員の配置			5名	5名		
	職員の資質向上(OJT・研修)			12回	12回		
	社会保険等の適切納付			100%	100%		
	会社の財政状況			100%	100%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営に必要な人員配置と、もしもの時の職員欠員時の緊急応援体制を構築し運営しております。 ・職員の資質向上を図るために、月1回の会社の責任者会議での実務研修(利用者への挨拶、言葉使いの確認等)を職員全員に徹底させるOJTを月1回実施しています。 ・健康保険料、厚生年金保険料の滞納は無く、各種税金も適切に納付しています。 ・会社の財政状況は健全です。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、経常収支比率からみて問題なく、主にビルメンテナンス業を営む企業であるため、十分な管理能力があると認められる。 ・管理運営に関し、担当職員、営業所、本社との連携が図られているとともに、欠員時の応援体制も確立されており、安定して管理運営をされている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価項目	① 日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか					
	② 緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか					
	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④ 利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	日常点検			毎日実施	毎日実施	
	危機管理のマニュアル確認(勉強会)			2回	2回	
	避難訓練実施			年2回実施	年2回実施	
	個人情報OJT実施回数			12回(月1回)	12回	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の安全点検や定期点検を実施し、不具合があったらすぐに館長に報告するなどリスクシナリオマニュアルも随時更新し職員全員に周知徹底しています。そして所管課へ報連相を徹底するなどして、その後どうしていくかの指示を仰ぎました。 ・緊急連絡網に変更があった場合すぐに変更し職員全員へ周知し危機管理体制を整えました。 ・避難訓練は、栃木消防署へ訓練実施の届出を提出した後、はばたき教室の先生および生徒と共に避難訓練を2回実施しました。 ・個人情報の保護の方針、マニュアルも勉強会を通じ職員全員に徹底させ個人情報漏洩を防ぎました。青少年ホーム利用許可証交付申請書や講座申込書等の書類は、鍵のかかるロッカーで適切に保管しています。 					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の安全対策には配慮されており、また、施設の修繕等、随時実施しており事故防止に取り組んでいる。 ・栃木公民館と連携し、敷地内の管理についても適切に実施されている。 ・緊急時のマニュアル、緊急連絡網が整備されており、また、個人情報保護のマニュアルも徹底され適切に処理されている。 ・引き続き、緊急時に対応できる体制を図っていただきたい。 					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	12	12
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20
評価点合計	100	89	85
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
資産総額	4,421,756,420	4,643,723,343	5,186,021,898
売上高	8,529,420,532	9,067,694,570	9,104,891,609
経常利益	668,375,570	674,986,136	703,553,522
当期利益	353,996,949	401,937,690	412,420,970
経常収支比率	108.4%	108.0%	108.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期
経常費用	7,910,165,258	8,407,084,868	8,420,142,044
経常収益	8,578,573,828	9,082,053,004	9,123,695,566
経常収支比率	108.4%	108.0%	108.4%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

・売上高も年を経るごとに伸張しており、経常比率についても平成24年度108.4%、平成25年度108.0%、平成26年度108.4%と安定しており、健全な財政状況となっております。